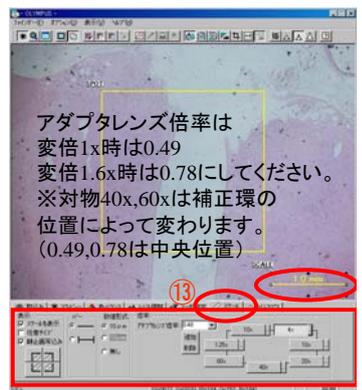
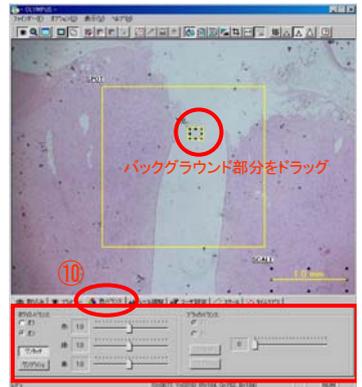
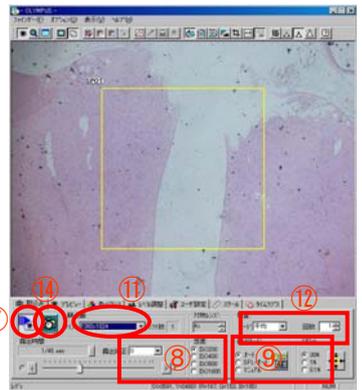
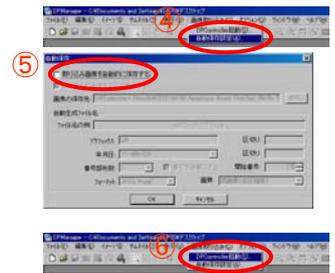


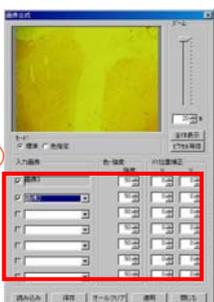
CCD(DP70)取り込み操作 (光路切り換えを下にする)

1. PCを起動する。
2. 顕微鏡で撮影可能な状態にする。
3. デスクトップのDPManagerを起動。
4. 画像取り込み – 自動保存設定 を選択。
5. 「取り込み画像を自動的に保存する」のチェックを外し、OKをクリック。
6. 画像取り込み – DPController起動 を選択。
7. プレビューボタンをクリックし、プレビューを開始する。
8. 明るさの調整。感度と露出補正を選択。
9. 露出モードをオート(明視野)、SFLオート(蛍光)、マニュアルから選択。
オートの場合は測光サイズ(スポット)と場所を選択。
マニュアルの場合は露出時間を調整。
10. 色合いが悪い場合はホワイトバランス、またはブラックバランスをとる。
[色バランス]のタブをクリックし、チェックを「オン」にし、
ワンタッチをクリック。画像上の白、または黒の場所を囲む。
[取り込み]のタブに戻る。
11. 静止画サイズを選択。(1360x1024以上はピクセルシフトになります)
12. ノイズが多い場合は、積算を平均にし、平均回数を指定します。
13. 【スケールを入れたい場合】
[スケール]タブをクリック。
「スケールを表示」、「静止画写込み」にチェックを入れる。
バー、数値形式を選択。
倍率から使用しているレンズ倍率とアダプタレンズ倍率を選択。
画像上のスケールバーの位置と長さを任意に変える。
[取り込み]タブに戻る。
14. 撮影ボタンをクリックし撮影する。
15. DPManagerに転送された画像を名前を付けて保存する。



<多色の重ね合わせ>

1. DPManager上で必要な画像を全て開いておく。
2. イメージ – 画像合成を選択。
3. 入力画像のプルダウンで重ね合わせたい画像を全て選択する。
色バランスが悪い場合は強度を変えてバランスをとる。
色ずれがある場合はX,Yを動かして重なるようにする。
適用をクリックすると新規にマージされた画像ができる。



スケールを後入れする場合は、画素数、対物倍率、変倍倍率の情報が必要です。
また、付属ソフトでは後入れできませんのでPhotoshop等の画像処理ソフトをご用意ください。
Pixel size = X total length / X pixel

※ご自身で撮影されたスケールバーの方が確実です。値は参考値です。

X total length (um) H20.8.5調べ

変倍	対物				
	x4	x10	x20	x40	x60
x1	4416	1776	886	442	297
x1.6	2742	1098	549	274	184

例 対物x20、変倍x1、1360x1024画素で撮影時
886 / 1360 = 0.65 (um/pix) ←1ピクセルの長さ